



一宮町長
馬淵 昌也

だと思っております。

それが、なかなか皆様とお会いできず、考えをすり合わせる事ができないと、住民の皆様と、行政の間に、隔たりが生じてしまい、誤解を生み出す可能性があります。それは、不適切な行政の遂行につながりかねない不健康な状態で、なんとしても避けなければなりません。

そこで、皆様にお願ひがあります。今後、わたくしは、余裕のあるときを利用して、皆様のお住まいへ、感染防止に気をつけながらお伺いしようと思っております。そうした折には、どうぞ率直なご意見を伺わせてください。また、現在、町長室開放日は、中止していますが、これを今後、面会時の密の回避に特段に留意しつつ、再開しようと思ひます。それに限らず、随時、なにかあれば、役場町長室にお出かけ頂きたく存じます。わたくしがお目にかかって、お話を伺わせて頂きます。

こうした回路を通じて、皆様と一緒に、コロナ後に向けて、更に住みよい一宮町を築いてゆきたいと存じます。どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、一旦は感染拡大に歯止めがかかったように見えますが、再び感染者が大幅に拡大し、全国で陽性者が多数確認されるに至っています。一宮町の行政でも、こうした状況を受けて、各種の会合などは、可能な限り控えることとなっています。町長の職務も同様で、例年ならば、区の総会をはじめ、各種行事や会合に頻繁に出かけるところなのですが、ほとんどがキャンセルされています。

こういう状況で、わたくしは少々不安を覚えます。町民の皆様と、直接お会いして、ご意見を伺う機会が、少なくなってしまうからです。これまでの四年間、曲がりなりにも順調に町政を進めてこられたのは、わたくしが不断に町の皆様とお目にかかって、多くの方から直接ご意見を賜り、またわたくしから町の立場をご説明してきたことによるところが大きいと感じています。町の主人公は、住民の皆様です。その住民の皆様と、信頼関係を結べてこそはじめて、正しい町の行政があるえるわけです。そのためには、できるだけ多くの皆様と直接顔を合わせて、意見を交換することが、なにより大事